

希学園 第404回 小2公開テスト 解説動画

下記、URLよりご視聴いただけます。

動画タイトル	URL
第404回公開テスト 小2国語 解説動画(2026年1月11日実施)	https://vimeo.com/1153112341/f3d0002fc1

① 水 力
② 初 日 の 出
③ 青 年

④ ま っ か
⑤ か わ か み

② ア
① ア
② イ

③ A
④ え さ

⑤ ア
⑥ ウ

③ エ
② ク
③ ウ
④ イ
⑤ オ
⑥ カ

④ イ
① イ
② C

③ I
けんご(くん)

II
さき(ちゃん)

④ ウ
⑤ な す が き ら い
【「な」「す」「が」「き」「ら」「い」の順で読みます】

配 点

① 各2点× 5 = 10点

②～④ 各5点× 18 = 90点

<計> 100点

① ①字はむずかしい。ことばとして知っているかどうかである。発電の種類には他に火力・原子力・風力・太陽光などがある。②「初日の出」とは、元旦つまり元日の朝に太陽がのぼってくる。③「青年」は年の若い男女のこと。若者。男性のことをいうことが多い。④の「赤」はこのときは「か」と読む。他にまっ白・まっ黒・まっ青などがある。⑤の「上」は「ジョウ・うえ・うわ・かみ・あ(がる)・のぼ(る)」と読む。

② 右大臣『科学のアルバム キッツキの森』より

(設問の都合上、表記の一部を変更しています)

1 外敵が近づきにくい場所をえらんで、入口も小さくしている ↓ しかし ↓ それでもほかの生き物に巣をうばわれたり、卵やひなが食べられたりする。

(前には敵をふせぐ巣のつくりかたが書かれていて、うしろには巣が敵におそわれることが書かれている)

2 「木もれ日があた」って暖かい。「風通し」がよい。「外敵が近づきにくい」。「巣あなの前方には木が少なく、広くあいた」場所である。「入口は、親鳥がやつと出入りできる大きさで」外敵に見つかりにくく、はいられにくい。「あなから雨水がはいらないように、木は少しかたむいてい」る。「そのうえ」をはさんで、六つの特長が書かれている。

3 ◎の文で「中に、はいれなくなった」のは「おす親」である。「ひな」が「中に、はいれなくなった」のなら、すでに「巣立ち」していることになる。「ひなが大きくなり、(おす親が)中に、はいれなくなった」から「おす親が、巣からはなれ、ひなだけの夜がはじまった」のである。

4 「ひな」が「ほしがっている」ものは何だろうと考えてみてほしい。「親」は「ひなにあたえるえさを運ぶ回数」をへらしていた。「ひなを空腹にさせ、しきりに巣立ちをうながし」ているのであった。

5 「木の幹」に「ぶつかる」ようにして「しがみつきました」とあった。「一度のはばたき練習もしないで巣立」つ「ひな」は、とぶのがまだ「へた」なのである。「じょうず」になったら、ひらりととんで、ふわりと幹にとまるのであろう。

6 とぶのがまだ「へた」な「ひな」が「ぶつかる」ような「木が少な」い場所なのである。アは「はばたき練習をしない」ためということだが、「えさ」をへらして「空腹」にさせないと「巣立ち」をしない「ひな」は、もともと「はばたき練習」をすることがないのである。また、この問いは「巣の前が広くあいている」ことの理由や目的をたずねているものなので、イの「巣の前が広くあいている」が答えになるはずがない。

③ もののようすの感じをあらわした擬態語の問題である。今回は同じ音を二つならべたものを集めてみた。

- ① 「すらすら」は、物事がつかえないで順調に進むようす。
- ② 「へとへと」は、ひどくつかれて、ぐったりするようす。
- ③ 「すくすく」は、勢いよく成長するようす。
- ④ 「しとしと」は、雨がしずかに降るようす。
- ⑤ 「はらはらは、ひどく心配して心がゆれ動くようす。
- ⑥ 「ひらひら」は、うすくて軽いものが空中にひるがえるようす。

④ すず きみえ『そのときがくるくる』より

(設問の都合上、表記の一部を変更しています)

1 人が気になるのは「すき」なものか「きらい」なものである。「きらい」な「なす」がいくつあるか「気になって」しかたがないのである。「きゅうしよくのじかんが、とうとうきちゃった」とあるので、今日の「きゅうしよく」に「なす」が出ることをすでに知っていたようだから、アにはならない。そもそも「なす」は食べたくないのだし、「数えてから食べたい」というのもおかしいので、ウにはならない。

2 Aは「まいちゃん」が「にがて」な「かぼちゃ」をいやいや食べた場面。Bは「ぼく」が「きらい」な「なす」を食べられなかった場面。Cは「なかまだとおもっていた」「さきちゃん」が「なす」を食べてしまった場面。「うらぎられた気分」にあてはまるものをえらばよい。

3 I 「けんごくんは、なすにミートソースをたっぶりのせて」とあった。

II 「なかまだとおもっていた」とある。「なす」が「きらい」な「さきちゃん」は「なかま」だったはずなのに、自分だけ「なす」を「ミートソースといっしょ」に「いっしょに食べおわってしまった」のである。

4 「なす」を食べることができず、じっと見つめているのである。アのように「なす」と「かくれんぼ」するなんてできないし、食べおわっていないのでイの「あとかたづけ」もできない。そもそも「なすと」いっしょに「あとかたづけ」することはできない。

5 「りょうくん」も「のこしていいよ」といわれて「立ち上がった」のだから、何か食べられないものがあつたようである。そして「たくまも、なす?」とたずねてきたということは、「りょうくん」が食べられないもの「も」「なす」だとわかる。